減価償却引当特定資産

減価償却引当特定資産は預金で構成されています。預金は帳簿価額をもって時価としています。

未収附属病院収入

未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等を用いた割引現在価値法により時価を算定し、レベル３の時価に分類しています。その他の未収附属病院収入は短期間で決済されるため、時価が帳簿価額をもって時価としています。

長期借入金及びリース債務

これらの時価は、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しています。

Ⅷ．賃貸等不動産関係

当法人は、福井県内において、賃貸等不動産を保有していますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しています。

Ⅸ．資産除去債務関係

⑴　資産除去債務の概要及び金額の算定方法

①　アスベスト

アスベストは、石綿使用建築物の除去義務等です。

使用見込み期間を残存耐用年数に基づいて見積もり、割引率は期間に応じた国債利回りを使用して、資産除去債務の金額を計算しています。

②　原状回復

原状回復は、土地の賃貸借契約に伴う原状回復義務等です。

使用見込み期間を残存耐用年数に基づいて見積もり、割引率は期間に応じた国債利回りを使用して、資産除去債務の金額を計算しています。

⑵　当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	45,816,646円
時の経過による調整額	37,529円
資産除去債務の履行に伴う減少額	770,000円
期末残高	45,084,175円

Ⅹ．減損の認識に関する事項

⑴　減損の兆候が認められた固定資産について

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

用　途	種　　類	帳簿価額	場　　所
一般管理	土地	39,439,642	乾徳宿舎（福井県福井市乾徳）
一般管理	土地	228,702,496	大願寺宿舎（福井県福井市大願寺）
一般管理	土地	83,222,067	松本宿舎（福井県福井市松本）
合　　計		351,364,205	

②　減損の兆候の概要及び減損を認識しない根拠

土地については、回収可能サービス価額が当該資産の帳簿価額を上回っているため、減損処理をしておりません。

Ⅺ．退職給付に係る注記

⑴　採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しています。当該制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しています。

⑵　確定給付制度

①　簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	926,800,209円
退職給付費用	203,310,379円
退職給付の支払額	△50,765,954円
期末における退職給付引当金	1,079,344,634円

②　退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	203,310,379円

Ⅻ．収益認識に関する注記

当法人は、以下に記載する内容を除き、会計基準第77における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しています。

⑴　収益の分解情報

当法人は教育・研究・診療業務を実施しており、基準第77を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、附属病院の診療による附属病院収益24,583百万円です。

⑵　収益を理解するための基盤となる情報

「重要な会計法人に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載しています。

⑶　当該事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

当該事業年度末における残存履行義務に配分された取引はありません。

ⅩⅢ．重要な後発事象

重要な後発事象は発生していません。

ⅩⅣ．国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

（令和７年４月１日～令和８年３月31日）　（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用		
業務費	41,691,099,001	
一般管理費	708,421,664	
財務費用	99,369,830	
臨時損失	54,540,367	42,553,430,862
⑵　（控除）自己収入等		
授業料収益	△ 2,617,426,054	
入学料収益	△ 407,559,191	
検定料収益	△ 79,802,200	
附属病院収益	△ 24,583,978,762	
受託研究収益	△ 638,471,903	
共同研究収益	△ 322,255,532	
受託事業等収益	△ 445,340,018	
寄附金収益	△ 885,253,453	
その他収入	△ 26,620,000	